

謹啓

先般は清積の故年

成程より事は豫て計畫

中の大日本財産株式

会社設立に就ては善

増進現るべき事なり特長

専有謝々

是等庶に依りて京都

大坂津之地方山廻り

大坂津之地方山廻り
好結采を得殊に京
都には存京古了
氏老起人たるを快
後され紙函三口中
に返下の法を以て伺
ひ引交株費を凌定
す日為めに能く之京
せらふとて京中管以
是れ實に返下の法勢
力は市街の段々社なる
京下の法賜に法主以て
為味紙上存かす合氏

あつは紙上なから合紙
と糸の言はあ感るべく
多貴に引交せらる様
は取立てと申すを斯る
也方の足力老の引交
けらる、株数ぬや一は
坊の一枚の糸糸三糸
に集まると借大に後
まゝ
右に付ては中を有静
親しくは終傍たは秋
中之以管にほけり花
は多利中十布ては迷
紙と存りに付る所

誠と存りに付る所
敢書中下を以て中々
久我に造せり

水戸

五月辛巳

塩倉方團

大隈伯爵
長下



明治三十九年六月廿六日

No 255

後居方團

東京市京橋區本八丁堀貳丁目壹番地

大日本水産株式會社創立事務所

(電話新橋三三〇番)

牛込区早稲田

伯爵大隈重信殿

